

博物館をより安心・安全に楽しんでいただくためのお願い

*新型コロナウイルス感染症の状況により予定が変更になる可能性もあります。予めご了承ください。 *ご参加の際はマスクの着用にご協力ください。当日体調に不安がある場合は参加をご遠慮ください。 <イベントについて> * 有料 (材料費や保険料など)の標記がないイベントは無料です。 * 10・11月のイベントは、すべてお申し込みが必要です。原則として開催日の一ヶ月前から(一ヶ月前が休館日の場合はその翌日から)電話もしくは受付カウンターで受け付けます。定員に達したら受付を終了します。 イベントの日時や内容に変更が出た場合、その都度ホームページなどでお知らせします。

企画展「発掘された日本列島2020」関連イベント

講演会「発掘された日本列島2020」展-特集1の見どころ 要申込 (定員40名) 10/10(土) 13:30~15:00 / 講堂 / 芝康次郎さん(文化庁文化財調査官) ※所変われば遺跡も変わる!土の中のニッポンをさぐる

講演会「櫛からたどる古墳時代の日本列島と東アジア 一會津大塚山古墳・灰塚山古墳の櫛が語ること」 要申込 (定員40名) 10/31(土) 13:30~15:00 / 講堂 / 木沢直子さん(公益財団法人元興寺文化財研究所) ※小さな櫛がたどる人と文化の交流史

講演会「ユネスコ世界の記憶 上野三碑を読み解く」 要申込 (定員40名) 11/15(日) 13:30~15:00 / 講堂 / 角田真也さん(高崎市教育委員会) ※上野国(群馬県)の三つの石碑(多胡碑・山上碑・金井沢碑)の謎にせまる!

見どころ解説会 要申込 (定員20名) 講堂 当館学芸員 ①10/24(土) 13:30~14:30 ※列島の縄文時代を解説します ②11/3(火祝) 10:30~11:30 ※列島の古墳時代と地域展を解説します ③11/3(火祝) 13:30~14:30 ※②と同じ内容です

野外講座

考古学 歩いて学ぶ会津大塚山古墳 有料 (保険料50円) 要申込 (定員20名) 11/7(土) 11:00~14:00 / 講堂・会津大塚山古墳 / 平澤慎(当館学芸員) ※秋の古墳で、古代を感じてみませんか?

自然史 鶴ヶ城の野鳥 有料 (保険料100円) 要申込 (定員20名) 11/8(日) 13:30~15:30 / 講堂・鶴ヶ城公園 / 古川裕司(野鳥研究者) ※カワセミが見られるかも?

テーマ展運動講座

美術 よくわかる仏教美術1 場所~仏像はどこにいる? 要申込 (定員40名) 10/11(日) 13:30~14:30 / 講堂 / 塚本麻衣子(当館学芸員)

美術 よくわかる仏教美術2 儀礼~何を祈る?どう祈る? 要申込 (定員40名) 10/25(日) 13:30~14:30 / 講堂 / 塚本麻衣子(当館学芸員)

美術 よくわかる仏教美術3 人~つくらせる人、つくる人 要申込 (定員40名) 11/1(日) 13:30~14:30 / 講堂 / 塚本麻衣子(当館学芸員) ※上記3回は、テーマ展「祈りのふくしま4」と連動した講座です

美術 やさしい焼きもの講座1 大堀相馬焼の歴史 要申込 (定員40名) 11/28(土) 13:30~15:00 / 講堂 / 原恵理子(当館学芸員) ※テーマ展「ふくしまの焼きもの1」と連動した講座です。2回目は12/12(土)に予定しています。



<編集後記> 秋は展覧会シーズン。今号の「なじよな」は、各展示担当者の声をたっぷりお届けします。「なじよな」(どんな)人が「なじよな」思いで展覧会を準備しているのか。ご注目ください!また、博物館の「こんな情報が欲しい!」というお声もぜひお寄せください。紙面づくりの参考にさせていただきます。(A)。

古文書講座

歴史 はじめてさんの古文書講座1 要申込 (定員30名) 10/17(土) 13:30~15:00 / 講堂 / 阿部綾子(当館学芸員)

歴史 はじめてさんの古文書講座2 要申込 (定員30名) 11/21(土) 13:30~15:00 / 講堂 / 栗原祐斗(当館学芸員) ※10/17・11/21・12/19の3回連続講座。3回まとめてのお申込となります。お申込は9/17(木)からです。受講後は1~3月のポイント展「チャレンジ!今月の古文書」でお試しできますよ。

<中止になったイベント> 下記イベントは中止になりました。 10/4[実技講座 縄文時代の編み物を再現しよう!] 10/10・11/14[博物館でも読み聞かせ] 10/17[自然史講座 野外講座 化石をさがそう!] 10/18[自然史講座 実技講座 化石標本をつくろう!] 10/30[ポイント展ミニ解説会 磐梯山ジオパーク展] 11/14[実技講座 大堀相馬焼をつくろう] 11/23[実演 会津・三島の編み組細工] 11/29[実技講座 お正月間近!しめ飾りをつくろう]

【10月・11月のポイント展】 *ポイント展は、収蔵品を中心に、特別に公開する資料などを1点から紹介する小規模展です。 ・宇都宮・会津仕置430周年記念③なるほど!太閤検校 8/22~10/25 ・わら細工としめ飾り 9/11~11/25 ・斎藤一と会津 9/12~9/27 ・磐梯山ジオパーク展 9/26~10/30 ・道具とくらしのうつりかわり-食事を彩る道具たち11/27~2021/2/23

●テーマ展「ふくしまの焼きもの1」(11/14~2021/1/11)は次号で詳しくご紹介します!

2020年10月・11月イベントカレンダー. Table with 2 columns for October and November, showing dates and event indicators (rest day, event day).

●休館日 ●イベント開催日

■常設展観覧料 一般・大学生280円(20名様以上の団体は220円) ■企画展観覧料「発掘された日本列島2020」一般・大学生700円(20名様以上の団体は560円) *企画展チケットで常設展もご覧いただけます(企画展開催中有効)。 *高校生以下は常設展・企画展ともに無料です。 *文化の日(11/3)は常設展がどなたでも無料でご覧いただけます。 ■年間パスポート 1,500円 購入日から一年間、当館主催の企画展や常設展が何度でもご覧いただけます。

Map showing the location of Fukushima Museum and surrounding areas like R121, R118, and JR stations.

Fukushima Museum logo and contact information: 福島県立博物館 Fukushima Museum. 開館時間9:30~17:00(最終入館は16:30まで) お問い合わせ TEL0242-28-6000 FAX0242-28-5986 〒965-0807 会津若松市城東町1-25 HP https://general-museum.fcs.ed.jp e-mail general-museum@fcs.ed.jp



Vol. 3 2020 10・11月号

なじよな Vol. 3 2020 10・11月号

ふくしまの焼きもの歴史

2020 10・11月号 Vol. 3

Vol. 3 2020 10・11月号

けんぱく・中の人

【学芸員編】大里正樹さん

大里正樹さん(当館学芸員)

「担当者に聞きたし！」

大里さんインタビュー

Q1/専門と最近の研究テーマについて教えてください。

民俗学が専門で、福島に伝わるしきたりやお祭り、年中行事について調べています。最近では、来年の“わら”をテーマにした企画展開催に向けて、県内各地のわらを使った行事などを調査しています。

Q2/楽しみにですね。今年もわら細工を展示室で見ることが出来ますか？

普段から常設展示室「民俗」で、わらへびやわら人形をご覧いただいておりますが、今年は福刈りの時期に合わせ「わら細工としめ飾り」というポイント展を行っています。写真にあるような、わらで作った宝船やかわいいミニ俄などのさまざまなわら細工や、お正月のしめ飾りを展示します。「こんなものまで作れるの？」という驚きが待っていますよ。

Q3/わら細工の魅力を教えてください。

稲の茎であるわらは、昔はとても身近な存在でした。身の回りの道具もわらからたくさん生まれました。神社のしめ縄もわらで出来ています。神聖なものから生活の道具まで、わらは幅広く使われます。私自身も小中学生の頃、お正月が近づくと大正生まれの祖父に教わりながら、近くの神社のしめ縄づくりを手伝いました。右縄・左縄といった縄のない方の違いや意味などを教えてもらった経験が、今に生きています。身近な暮らしに息づいていた人々の思いや祈りを、少しでもお伝えできたら、と思います。

ポイント展「わら細工としめ飾り」(9/11~11/25)

会場 常設展示部門展示室「民俗」

けんぱく日記

高校生とコラボ！ミニ屏風展示

昨年度、福島県立茨高高等学校の生徒さん42名が当館のテーマ展「大須賀清光の土津神社・円蔵寺図屏風」を鑑賞し、その体験をもとに美術の時間に制作したミニ屏風を、体験学習室で展示しました(8/18~9/20)。それぞれ土津神社図か円蔵寺図のどちらかを作品のベースに選んだ上で、日本美術上の有名な作品と組み合わせるなどして仕上げた、個性が光るミニ屏風42隻が並び様子は、なかなか壮観でした。

高校生とコラボ！ミニ屏風展示 体験学習室

テーマ展「祈りのふくしま4」

10月3日(土)~11月8日(日)

会場 常設展示部門展示室「歴史・美術」

大里正樹さん(当館学芸員)

「担当者に聞きたし！」

塚本さんインタビュー

Q/塚本さんが担当する仏教美術のテーマ展「祈りのふくしま」は、今年で4年目ですね。

塚本さんの思いや、今年の見どころを教えてください。

福島県は仏教文化が盛んな所です。コツコツご紹介したいと取り組んできました。毎年テーマを立て、新たな視点を入れて構成しています。1年目は仏像の基本的な見方、2年目は会津の仏教美術、3年目は仏教美術のおもしろポイントを取り上げました。4年目の今年は、地域と仏像をテーマにしています。仏像調査を行う中で、地域に人がいない、お堂の管理に手が回らない、という声に接し、改めて大事なテーマと気付いたことがきっかけです。皆さんに地域の現状を知って頂ければと思います。

今回展示する仏像の1つに、喜多方市熱塩加納板ノ沢地区の虚空蔵菩薩像があります。地区は現在8世帯となり、お堂も集落から少し離れていて管理が難しくなってきたそうです。喜多方市内で年号が分かる仏像が少ない中、底に永享3年(1431)の墨書がある貴重な仏像です。このように、仏像の美術史的特徴だけではなく、大切に守ってきた人たちの思いなど、仏像の背景についても今年のテーマ展ではご紹介します。

今だから再注目！過去の展示図録

開催中の企画展に合わせ、当館の過去の展示図録をご紹介します！

「発掘ふくしま3」(2003年)

「発掘ふくしま4」(2017年)

今回は、秋の企画展「発掘された日本列島2020」の開催に関連し、当館で過去に開催した企画展「発掘ふくしま」シリーズの図録の中から、2冊ご紹介いたします。遺跡の発掘調査は、ダムや道路の建設などの開発事業や圃場整備に伴って実施されるものがほとんどです。この2冊は、発掘調査によって現代によみがえった先人の貴重な文化遺産を、時代別にご紹介する内容となっています。特に「発掘ふくしま4」の図録は、東日本大震災からの復興事業に伴って実施された発掘調査の成果を中心にまとめたものです。2冊の企画展図録は、ふくしまに生きた先人の歴史アルバムです。土の中から聞こえてくる先人の声に耳をすましてみてください。現代に生きる私たちに何かを問いかけてはいませんか。(田中)

企画展図録は、当館受付カウンターで販売しているほか、通信販売でもお買い求めいただけます。ご注文方法につきましては、当館ホームページをご覧ください。電話でもお問い合わせください。

きんぱくなしょぼ

けんぱくからKIDSへのメッセージコーナー

謎の忍者マッキー

フタバスキュウマッキー

「おっきな古墳を探検してみよう」の巻

1 これは福島県の泉崎村で発掘された大きなお墓の模型だよ。王様や大きな権力をもった人のためにつくられたお墓で「古墳(こふん)」というんだ。

2 よし！もっと近くで見てみよう！

3 近くで見るととっても大きいのがわかるね！古墳が作られていた4世紀から8世紀頃は機械がなかったから、たくさんの人の力で古墳をつくっていたんだよ。

4 古墳に入る人は、こんなに大きな古墳をつくってもらったほどの大きな権力をもっていたんだね。ん？よく見ると周りにいろいろなものが並べられているね！

これは埴輪(はにわ)といって、いろんな形をしているものが見つかったりするよ。

お相撲さんや盾をもっている人の埴輪もあるね。

あれ？人の形ではない埴輪もあるよ！

動物の形をした埴輪もあるよ。動物たちの中には人と同じもしくはそれ以上に神聖な生き物として扱われたものもいたんだよ。

令和2年度 秋の企画展

発掘された日本列島2020

10月10日(土)~11月15日(日)

*新型コロナウイルス感染症の状況により、日程の変更が生じる場合があります。

文化庁が平成7年から毎年開催している「発掘された日本列島」展。全国で毎年9,000件近く行われる発掘調査のうち、近年発掘された遺跡や、成果がまとまった注目の遺跡を広く紹介し、埋蔵文化財の面白さを伝え、発掘調査の意義と文化財保護への理解を深めて頂ける展覧会です。26回目となる令和2年度は、当館を含む全国の公立博物館5館を巡回。当館での展示は17年ぶりです。文化庁が主催する中核展示(51遺跡の紹介)と、各館オリジナルの地域展示(当館では福島県内6遺跡の紹介)で構成され、全国の発掘成果も、地域の見どころも、両方楽しめます。

展示構成

(1) 新発見考古速報
(2) 特集1 日本の自然が育んだ多様な地域文化
(3) 特集2 記念物100年—我がまちが誇る史跡・名勝・天然記念物—
(4) 地域展 ふくしま古墳発掘フロンティア

【会場】企画展示室
【主催】文化庁 福島県立博物館 福島民報社 福島民友新聞社 全国新聞社事業協議会
【協力】全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会 全国埋蔵文化財人連絡協議会 共同通信社 公益財団法人元興寺文化財研究所
【後援】全国史跡整備市町村協議会
【観覧料】一般・大学生 700円(20名以上の団体560円) / 高校生以下 無料
*企画展料金で常設展もご覧いただけます(会期中有効)。
【年間パスポート】1,500円
*ご購入日より一年間、当館の常設展・企画展(当館主催のみ有効)を何回でもご覧いただけます。

列島展 高橋満さんインタビュー

Q1/今年で26回目となる「発掘された日本列島」展(以下「列島展」)ですが、今年の展示構成と注目点を教えてください。

1つ目は、「新発見考古速報」というテーマです。毎年全国でたくさんの遺跡が発掘調査される中で、今回は特に注目される7遺跡を取り上げます。縄文時代から近世まで、幅広い時代の注目遺跡を取り上げています。石川県の八日市地方遺跡(弥生時代)から出土した鉄製のヤリガンナは、装飾模様のある木製の柄につつま、当時の姿そのままに出土しました。このように美しい完全形態で出土したのは初めてで、道具がどのように作られていたかがよく分かります。

2つ目は、「日本の自然が育んだ多様な地域文化」です。全国の著名な、旧石器時代から古墳時代の遺跡の出土品をご紹介します。縄文時代なら縄文土器など、その時代を代表する豊富な出土品を比較軸に、列島に花開いた地域文化の多様性に触れることができます。縄文時代=火焔型土器というイメージがありますが、これは縄文時代中期に新潟県の限られた地域で出土します。一方西日本では、派手さのない、シンプルなデザインの土器が一般的です。縄文土器にもまるで方言の様に、地域の独自性があることが分かります。

3つ目は、「記念物100年—我がまちが誇る史跡・名勝・天然記念物—」です。全国の史跡・名勝・天然記念物の所在する自治体が、それらを保護し活用するためのさまざまな取り組みをパネルで紹介しています。ご覧いただき、各地に足を運んでみてはいかがでしょうか。

Q2/小さなお子さんにも楽しめる展示品はありますか？

1つ目は、「新発見考古速報」というテーマです。毎年全国でたくさんの遺跡が発掘調査される中で、今回は特に注目される7遺跡を取り上げます。縄文時代から近世まで、幅広い時代の注目遺跡を取り上げています。石川県の八日市地方遺跡(弥生時代)から出土した鉄製のヤリガンナは、装飾模様のある木製の柄につつま、当時の姿そのままに出土しました。このように美しい完全形態で出土したのは初めてで、道具がどのように作られていたかがよく分かります。

2つ目は、「日本の自然が育んだ多様な地域文化」です。全国の著名な、旧石器時代から古墳時代の遺跡の出土品をご紹介します。縄文時代なら縄文土器など、その時代を代表する豊富な出土品を比較軸に、列島に花開いた地域文化の多様性に触れることができます。縄文時代=火焔型土器というイメージがありますが、これは縄文時代中期に新潟県の限られた地域で出土します。一方西日本では、派手さのない、シンプルなデザインの土器が一般的です。縄文土器にもまるで方言の様に、地域の独自性があることが分かります。

3つ目は、「記念物100年—我がまちが誇る史跡・名勝・天然記念物—」です。全国の史跡・名勝・天然記念物の所在する自治体が、それらを保護し活用するためのさまざまな取り組みをパネルで紹介しています。ご覧いただき、各地に足を運んでみてはいかがでしょうか。

地域展 ふくしま古墳発掘フロンティア

地域展 平澤さんインタビュー

Q1/展覧会の4つ目のテーマは「地域展 ふくしま古墳発掘フロンティア」(以下「地域展」)ですが、コンセプトや展示構成を教えてください。

地域展は、いわば福島県内の発掘速報展です。中でも今回は古墳時代の成果に注目しました。古墳時代前期・中期・後期という時代性と、浜通り・中通り・会津という地域性を考慮しつつ、近年の発掘調査の成果が目覚ましい遺跡を取り上げました。前期は中通り地域の団子山古墳と高木遺跡(須賀川市)、中期は会津地域の灰塚山古墳(喜多方市)、後期は浜通り地域の飯堂堂横穴群・塚前古墳・神谷作101号墳(いわき市)をご紹介します。

実は僕もこのうち2つの遺跡の調査に関わっています。1つは団子山古墳で、当初円墳だと思われていたのですが、調査中に前方後円墳であることが分かりました。最新の調査では埴輪が立ち並んだ状態(埴輪列)で発見され驚きました。前期古墳で埴輪列が確認されるのは全国でも珍しく、東北では初だったからです。この時発見された直径40cmにも及ぶ大きな埴輪をご覧いただけます。もう1つは塚前古墳です。測量調査により、100メートル前後の規模の古墳であることが確認でき、同時期の古墳の中では東北最大であることが分かりました。展示では、この古墳から出土した東北では珍しい蓋形埴輪を展示します。

Q2/灰塚山古墳は、近年、報道でも注目を浴びていますね？

被葬者の人骨が非常に良好な状態で発見されて分析がすすみ、健康状態や食べたものまで分かり、注目されました。今回は人骨から復元した被葬者の姿を映像でご覧いただけます。また出土した数々の副葬品をすべて展示します。特に今まで良く形状が分からなかった「埴輪」と呼ばれる装身具がまとめて発見されており、大きな謎を解く手がかりになりました。灰塚山古墳の出土品は県内初公開となります。ご期待ください。

会場ではすべての展示品の撮影ができるよ！

exhibition

透光器土偶(新潟県阿賀野市 石船渡遺跡)

大里正樹さん(当館学芸員)

「担当者に聞きたし！」

列島展 高橋満さんインタビュー

Q1/今年で26回目となる「発掘された日本列島」展(以下「列島展」)ですが、今年の展示構成と注目点を教えてください。

1つ目は、「新発見考古速報」というテーマです。毎年全国でたくさんの遺跡が発掘調査される中で、今回は特に注目される7遺跡を取り上げます。縄文時代から近世まで、幅広い時代の注目遺跡を取り上げています。石川県の八日市地方遺跡(弥生時代)から出土した鉄製のヤリガンナは、装飾模様のある木製の柄につつま、当時の姿そのままに出土しました。このように美しい完全形態で出土したのは初めてで、道具がどのように作られていたかがよく分かります。

2つ目は、「日本の自然が育んだ多様な地域文化」です。全国の著名な、旧石器時代から古墳時代の遺跡の出土品をご紹介します。縄文時代なら縄文土器など、その時代を代表する豊富な出土品を比較軸に、列島に花開いた地域文化の多様性に触れることができます。縄文時代=火焔型土器というイメージがありますが、これは縄文時代中期に新潟県の限られた地域で出土します。一方西日本では、派手さのない、シンプルなデザインの土器が一般的です。縄文土器にもまるで方言の様に、地域の独自性があることが分かります。

3つ目は、「記念物100年—我がまちが誇る史跡・名勝・天然記念物—」です。全国の史跡・名勝・天然記念物の所在する自治体が、それらを保護し活用するためのさまざまな取り組みをパネルで紹介しています。ご覧いただき、各地に足を運んでみてはいかがでしょうか。

鹿形埴輪(鳥取県北栄町 十古墳群)

埴輪シルエット

何をモチーフにした埴輪かわかるかな？

人物埴輪(いわき市神谷作101号墳)

青銅鏡(喜多方市灰塚山古墳)

発掘された古墳のようす(喜多方市灰塚山古墳)

埴輪列が発見されたようす(須賀川市 団子山古墳)

円筒埴輪(須賀川市 団子山古墳)

スクー

会場ではすべての展示品の撮影ができるよ！

企画展担当/平澤慎さん(当館学芸員)

展覧会の関連イベントは最終頁をご覧ください